



令和7年4月15日

独立行政法人国立科学博物館

コレクション特別公開「クレマチス園公開」 報道内覧会のご案内

国立科学博物館 筑波実験植物園(園長 遊川 知久)において、来る4月26日(土)から6月8日(日)まで、コレクション特別公開「クレマチス園公開」を開催いたします。

日本屈指の展示種類数を誇る筑波実験植物園クレマチス※園は、野生種と園芸品種合わせて約250種類1200株を植栽しています。

本年は、特に近年リリースされた最新品種をはじめ、希少性の高い品種と、それらの品種に利用されている野生種の性質などについてパネル展示や展示案内にてご紹介します。当園で初公開の品種や野生種なども展示予定です。

また、クレマチスの野生種とその園芸化の歴史、日本を代表する野生種であるカザグルマなど、絶滅に瀕したクレマチスを守る取り組み、クレマチスに関する解説パネルの展示や展示案内、特別セミナー、栽培講座などの関連イベントも大変充実しています。早咲き品種から遅咲き品種まで、会期中に次々と咲き変わる多彩な花々のリレーをお楽しみください。



クリル
(福島発の新しい品種)

なお、5月4日(日・祝)はみどりの日として、また、5月18日(日)は国際博物館の日として、入園無料でご覧いただけます。

つきましては、本企画展の開催に先立ち、4月25日(金)午後1時30分～2時30分の間報道内覧会を筑波実験植物園(茨城県つくば市)にて実施いたしますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。報道内覧会への参加をご希望の方は、下欄のお問い合わせ先にご一報のうえ、午後1時15分に筑波地区研究管理棟1階 玄関ホールにお越しください。

※クレマチスについて

クレマチスとは、キンポウゲ科センニンソウ属(*Clematis*)に分類される植物の総称で、日本にはカザグルマ、ハンショウヅルなど30種以上(変種などを含む)が自生しています。また、日本のカザグルマや、中国原産とされるテッセンなどの世界各地の野生種をもとに、多彩な園芸品種が作出されてきました。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館 経営管理部 研究推進・管理課

研究活動広報担当：稲葉 祐一 中山 瑠衣

担当研究員：村井 良徳(植物研究部 多様性解析・保全グループ、筑波実験植物園)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL: 029-853-8984 FAX: 029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館WEBサイト

<https://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園 WEB サイト

<https://tbk.kahaku.go.jp/pp>

コレクション特別公開「クレマチス園公開」開催概要

1. 目 的 日本でも有数のコレクション(約250種類約1200株)を展示し、多種多様な花を毎年たくさんの方に楽しんでいただいているクレマチス園。令和7年度も開花期にあわせて公開し、来園者にクレマチスの多様性を体感していただきます。また、日本を代表する野生種でありながら絶滅が危惧されているカザグルマなどについても紹介します。
2. 名 称 コレクション特別公開「クレマチス園公開」
3. 主 催 独立行政法人 国立科学博物館 筑波実験植物園
4. 会 期 令和7年4月26日(土)～6月8日(日) 計39日間
(休園日あり:5月7日(水)、12日(月)、19日(月)、26日(月)、6月2日(月))
5. 場 所 筑波実験植物園クレマチス園

6. 展示構成

①クレマチスの展示

筑波実験植物園のクレマチス園のカザグルマをはじめとするクレマチスの野生種とその園芸品種約250種類1200株を公開します。野生のカザグルマなどの早咲きの花にはじまり、会期後半のジャックマニーやテキセンシス系などの遅咲きの花まで、クレマチスの多彩な花々のリレーが楽しめます。当園で初公開のクレマチスの中には、まだほとんど流通していない最新品種や、希少な野生種などもあります。

②クレマチスに関するパネル展示

クレマチスについて、野生種の多様性や園芸化の歴史、近年誕生した新しい品種に利用されている野生種の性質、また、絶滅が危惧されるカザグルマとその保全などを、パネルで解説します。

7. 関連事業

①展示案内

■「クレマチス園見学ポイント紹介」

日時 令和7年5月4日(日・祝・無料入園日)、5月18日(日・無料入園日)、6月8日(日)
※各日とも①10:00～、②10:30～、③11:00～

集合場所 クレマチス園

定員 各回先着10名(事前予約不要、各回とも10分前から整理券を配布します)

講師 村井 良徳(筑波実験植物園 研究員)

②特別セミナー

■「日本の野生種をもとに花開いた園芸植物とカザグルマの多様性」

日時 令和7年5月11日(日)10:30～11:30

会場 研修展示館3階セミナー室

定員 30名(要電話予約:029-851-5159・先着順)

講師 村井 良徳(筑波実験植物園 研究員)

■「世界で進化するクレマチス、日本で進化するハンショウヅル」

日時 令和7年5月18日(日・無料入園日)13:30～14:30

会場 研修展示館3階セミナー室

定員 30名(要電話予約:029-851-5159・先着順)

講師 三池田 修(東京都立豊多摩高等学校)

③栽培講座

■「はじめてのクレマチス栽培」

日時 令和7年5月4日(日・祝・無料入園日)、5月11日(日)

各日とも①13:30～14:00、②15:00～15:30

会場 クレマチス園

定員 各回12名(要電話予約:029-851-5159・先着順)

講師 村井 良徳(筑波実験植物園 研究員)

多種多様なクレマチスの野生種と園芸品種

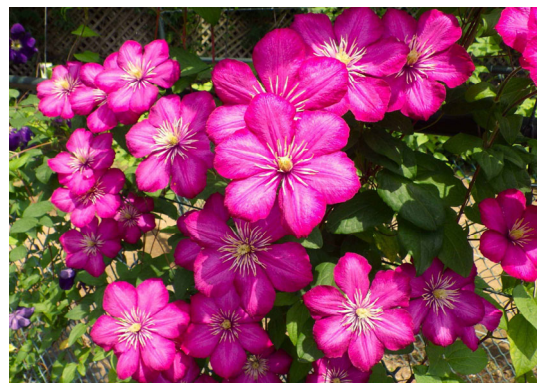
クレマチス(キンポウゲ科センニンソウ属)には、約300の野生種と数千にも及ぶ園芸品種が存在します。その花は色や形が変化に富み、よい香りのする種類も増えており、とても多様です。本企画展では、日本のカザグルマをはじめとする野生種や、それらをもとに作出された園芸品種の多彩な花々を通じて、植物の多様性に触れていただきます。特に本年は、100年以上前から長く愛されている品種から、近年リリースされた新しい品種まで、多彩なクレマチス品種の開発の歴史や野生種との関係性などについても、ご紹介します。

筑波実験植物園では、野生種と園芸品種をあわせると350種類以上のクレマチスのコレクションを保有し、そのうち約250種類をクレマチス園で植栽しています。そのコレクションの中には、希少な野生種である絶滅危惧種もあります。例えば、当園が保有する日本各地のカザグルマは、大輪花が魅力で、シーボルトらがヨーロッパに持ち帰り、多くの園芸品種の交配親となった日本を代表する野生種ですが、自生地土地開発や園芸採取などにより、絶滅が危惧されています。会期前半に開花しますので、各産地の花の変異などもお楽しみいただきながら、その現状をご紹介します。また四国の限られた場所に自生するシコクハンショウヅルなど、当園で増殖に成功した絶滅危惧種もあります。さらに園芸品種については、現在ではほとんど流通していない希少なクレマチスが当園に保存されています。このような希少な花々も、開花した際には展示してご紹介します。

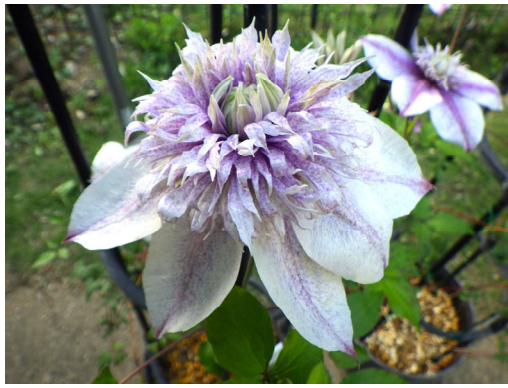
【当園で人気のクレマチス】※開花時期は、あくまでも目安です。



カザグルマ(茨城県産) 開発や園芸採取で数が減り絶滅危惧種のため当園で保全を行っている。会期前半が見ごろ。



ビル・ド・リヨン 100年以上前にフランスで作出された園芸品種で、5月中旬～6月上旬に開花する。



水面の妖精 当園で昨年人気 No. 1 の品種。フロリダ（テッセン）系で 21 世紀になり日本で生まれた園芸品種。5 月中旬頃に開花する。



藤娘（フジムスメ）日本で作出され、海外でも流通している、昭和の名花の一つ。会期後半に開花する。

【野生の特性を活かした近年の品種】



こゆき フロリダ（テッセン）系で、花付きがとてもよい、日本発の新しい品種の一つ。



クリル 野生種のチシマハンショウヅルを交配親に利用することで誕生した、うどんこ病に強い品種。当園では初展示。

【クレマチス園の様子】



5 月上旬（パテンス系など）



6 月上旬（ジャックマニー系など）



コレクション特別公開

クレマチス園 公開

新しいクレマチス品種の魅力と、野生種とのつながり



2025 4/26_[土] - 6/8_[日]

[開園時間] 9:00～17:00 (入園は16:30まで)

[休園日] 5/7[水]・12[月]・19[月]・26[月]・6/2[月]

4/28[月]・30[水]・5/5[月・祝] 開園 5/4[日・祝]・18[日] 入園無料

[入園料] 一般 320円 団体 (20名以上) 250円

高校生以下および65歳以上は入園無料 障害者手帳をお持ちの方およびその介護者1名無料

※諸情勢により、入場の制限や、展示内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

クレマチス園開花情報

見ごろの品種を随時公式ウェブサイトでお知らせします!

早咲きから遅咲きまで咲き変わります



筑波実験植物園

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1
TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998
<https://tbk.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

「クレマチス」(キンポウゲ科センニンソウ属)には、約300の野生種と数千にもおよぶ園芸品種が存在します。その花は色や形が変化に富み、よい香りのする種類もあるなど、とても多様化しています。本公開では、日本のカザグルマをはじめとする野生種や、それらをもとに作出された数多くの園芸品種の花々を通じて、自然とヒトが生み出した植物の多様性に触れていただきます。早咲きから遅咲きまで多彩な花のリレーが楽しめます。本年度は特に、近年リリースされた魅力的な新しい品種と、そのもととなった野生種の性質などについてもご紹介します。



カザグルマ(広島県)



カザグルマ(愛媛県)



ハンショウヅル



クロバナハンショウヅル



ルリオコシ



ユキオコシ



てゆき



クリル

特別セミナー 会場:研修展示館 3階セミナー室

要電話予約・先着順 予約受付:029-851-5159
各イベントの1か月前から

「日本の野生種をもとに花開いた園芸植物とカザグルマの多様性」

日時:5月11日(日) 時間:10:30~11:30 定員:30名
講師:村井 良徳(筑波実験植物園 研究員)

「世界で進化するクレマチス、日本で進化するハンショウヅル」

日時:5月18日(日) 時間:13:30~14:30 定員:30名
講師:三池田 修(東京都立豊多摩高等学校)

栽培講座 会場:クレマチス園

要電話予約・先着順 予約受付:029-851-5159
イベントの1か月前から

「はじめてのクレマチス栽培」

内容:クレマチスの栽培管理のポイントをご紹介します。

日時:5月4日(日・祝)、5月11日(日)
時間:各日 ①13:30~14:00 ②15:00~15:30
定員:各回12名
講師:村井 良徳(筑波実験植物園 研究員)

※ 5月4日(日・祝)、5月18日(日)は
無料入園日です。

展示案内 会場:クレマチス園

事前予約不要 各回ともクレマチス園で10分前から整理券を配布

「クレマチス園見学ポイント紹介」

内容:クレマチスの多様性や見ごろのクレマチスなどを10分ほどでご紹介します。

日時:5月4日(日・祝)、5月18日(日)、6月8日(日)
時間:各日 ①10:00~ ②10:30~ ③11:00~
定員:各回先着10名
講師:村井 良徳(筑波実験植物園 研究員)

アクセス

